

栄養・運動懇談会

第3回懇談会 事前にいただいた意見

【栄養・食生活】

番号	項	該当箇所	ご意見	県の考え方
①	1	4 行目 良好な栄養素摂取量や 栄養状態につながり	「良好な栄養素摂取量」とは、あまり言わないのではないかと。 「心身の調子を整えるとともに～」等に変更するか、この部分は削除してもよいのではないかと。	良好な栄養素摂取量とは、栄養素の過不足のない食事として国の説明資料にあるため引用しました。バランスの良い食事をとることは過不足なく栄養素量を摂ることにつながるためこのまま記載する方向で検討いたします。
②	4	6 食環境整備の状況 現状を説明する部分であると思いますが、表1についての説明がされていません。	食環境整備として健康に配慮したメニューを提供するお店や給食施設を増やす取組は肥満対策にもつながると思いますが、県民に働きかけるとするのは取組に該当すると思います。 「食環境整備として健康に配慮したメニューを提供するお店や給食施設が増え、県民がそのメニューを選択できるようになることで県民の肥満者の減少につながりますが、その取組状況は、飲食店で増加し、スーパーやコンビニ、社員食堂などでは増加していません。」のような書き方にしては	ご指摘のとおり状況についても修正しました。

番号	項	該当箇所	ご意見	県の考え方
③	5	2 県民の取組 ○ ～適正量の果物を摂取します	果物の摂取の表現について、変更下さり、ありがとうございます。 そのほか整理されて簡潔でわかりやすい内容となったと思います。もし可能であれば、次回、変更の経緯などご説明いただけると良いと思いました。	単語や文章の重複等を整理いたしました。主な修正点等は改めてご説明いたします。
④	5	2 県民の取組 ○朝食を摂取します。	・朝食を毎日食べます (習慣的な表現を加えることが可能であれば。また、摂取→食べるの表現の方が身近な気がします)	ご指摘のとおり「朝食を毎日食べます」に修正しました。
⑤	5	3 関係機関・団体の取組 (2) 市町村 ○ 食生活推進員などの食育ボランティアを育成します。	「育成」だけでなく、「養成・育成」とする方がよいのでは	「食生活改善推進員などの食育ボランティアを養成・育成し、活動を支援します」に修正しました。
⑥	5		食生活改善推進員などの食育ボランティアを育成し、活動を支援します。 (育成だけだと上からなイメージなので、同じ目線で助け合いながら食育を展開していくために活動支援という表現もあればよいかと思いました)	
⑦	5	(3) 関係機関・団体 ○ 食に課題を持つ子どもや保護者に対し～個別相談を実施します。	小・中学校においては、養護教諭や担任等と連携をはかり、栄養教諭として個別的な相談指導を実践できるようにしていく。	今後実施していく上でのご意見として伺いました。

⑧	5 ・ 6	「適塩」	なぜ「減塩」ではなく、「適塩」としているのでしょうか。	現計画の記載を引継ぎ「適塩」としていましたが、長野県食育計画（第4次）や国の説明資料に合わせて「減塩」に修正しました。
⑨	6	4 県の取組（施策の展開） 3つ目の○の表現について （前略）、企業や学校など県民への普及活動、	「企業や学校など県民への」という表現を再検討してください。	広く県民に普及啓発していくという意図から「企業や学校など」を削除しました。
⑩	7	数値目標 食塩摂取量 7 g 未満	引き続き給食での減塩に努め、児童生徒や保護者へも食育指導や試食会、給食だより等で減塩の周知をしていきたい。	今後実施していく上でのご意見として伺いました。
⑪	P7	数値目標 野菜摂取量 果物摂取量	住民の話を聞いていると、野菜も果物も食べている人は多く食べていて、食べない人は全く、ほとんど食べていないという極端な状況もあるように感じます。その状況の中で、平均値でとるのが適当なのか疑問に感じます。体重と同じく、適切な人の割合を増やすことが適当ではないでしょうか。	数値目標は国の目標値に合わせて設定しています。県民健康・栄養調査結果では、不足している者の割合も公表していますので、施策を展開していく上では平均値と割合の両方を見ながら進めていく必要があると思われます。また、県民が取り組んでいく目標値としては平均値の方が取り組みやすいと考えます。

【身体活動・運動、休養】

番号	項	該当箇所	ご意見	県の考え方
①	12	第2 目指すべき方向 と施策の展開 2 県民の取組 ○「運動習慣を習得 します」	身につける、運動を習慣化する は、いかがか。	ご指摘のとおり、「運動習慣 を身につける」に修正しまし た。
②	12	4 県の取り組み 3 行目	長野県版身体活動ガイドライン「 <u>ずく だすガイド</u> 」を周知します。 下線部分の追加をお願いします。なぜ なら、ずくだすガイドが広く周知する ための概要版となっているためです。	「国の健康づくりのための 身体活動基準 2013」が 23 年度版として策定予定のため、国の状況を見ながら長野 県版も改定について検討し ていく予定です。新ガイドラ インの名称が未定のため文 章はこのままとする予定で す。
③	12	2 県民の取組 ○十分な睡眠時間を 確保します	4 県の取組（施策の展開）に国民健 康保険室（国保運営係）で進めている 事業「睡眠と健康」を追加してもよい のではないかと。 働き盛り世代を中心に、睡眠の重要性 の普及啓発を図る。	「睡眠と健康」に関する事業 は今年度で終了となります が、睡眠の重要性については 周知していく必要があると 考え、コラムに掲載する予定 です。
④	12	3 関係機関・団体 の取組	特定保健指導の関係もあるので、「医療 保険者（市町村含む）による運動習慣 定着の取組」を入れたらどうか。	4 つ目の○を「運動習慣の必 要性について、乳幼児健診 や・ <u>特定保健指導等</u> の機会を 活用し啓発します」に修正し ました。

番号	項	該当箇所	ご意見	県の考え方
⑤	12	<p>4 県の取組（施策の展開）</p> <p>○健康運動指導士等を民間企業や市町村等に派遣します。</p>	健康増進指導士等の派遣は、県の取組ではなく、関係機関・団体の取組とすべきでは	<p>県の取組として、指標にある運動アドバイザーの派遣等を想定しています。</p> <p>ご指摘のとおり、関係機関でも幅広い年代に、実施していただいていることから、3つ目の○を「運動習慣を身に付けるため、運動イベント・講座等を開催します」に修正しました。</p>
⑥	12	<p>施策の展開</p> <p>健康運動指導士について</p>	健康運動指導士について、配置を進めると活動の場を拡大していく取組が必要。	<p>配置については、関係機関・団体の取組として「運動指導者の配置」について記載し、数値目標値に健康運動指導士数を掲載しています。活動の場の拡大については、県の取組の最後の○で健康運動指導士の派遣について記載し、数値目標値に運動アドバイザーの派遣団体と派遣数について掲載しており、今後も引き続き健康運動指導士を含めた運動アドバイザーの取組について施策を展開していく予定です。</p>

番号	項	該当箇所	ご意見	県の考え方
⑦	全体	座位時間について (コラムについて) コラムについて	座位行動時間について、コラムでとりあげてくださること、よかったです。国や他県ではまだ取り扱いがない項目であると思いますが、今後にもけての取組として位置づけることは大切かもしれません。	コラム掲載について準備を進めて参ります。
⑧			座位時間について取り上げていただきありがとうございます。動くことからの視点ではなく、動いていないことへの気付きのきっかけになるコラムを期待します。	
⑨	全体		再度のお願いになりますが、国の身体活動基準・指針の改訂を基に、長野県版身体活動ガイドラインづくりガイドの改訂をお願いしたいです。	質問②のとおり今後改定していく予定です。
⑩	4	長野県版身体活動ガイドライン	今一度、周知の意味で、“コラム欄”で紹介するのはいかがか。	質問②のとおり、改定について検討していくため、現在のガイドラインについてコラム記載は行わない予定です。